

國島市長に問う!!

一般質問



3月8日、9日、10日の3日間、16人の議員が市政全般について質問しました。

3月8日(水)

	議員名	掲載ページ
1	沼津光夫	10
2	榎隆司	11
3	渡辺甚一	11
4	溝端甚一郎	11
5	伊東寿充	12
6	谷村昭次	12

3月9日(木)

	議員名	掲載ページ
1	西田稔	12
2	車戸明良	13
3	橋本正彦	13
4	山腰恵一	13
5	中箴博之	14
6	松山篤夫	14

3月10日(金)

	議員名	掲載ページ
1	谷澤政司	14
2	岩垣和彦	15
3	上嶋希代子	15
4	牛丸尋幸	15

※本会議などの様子は、市議会のホームページ・ヒットネットTVでご覧いただけます。

(インターネットでは、当日の生中継のほか録画配信により、いつでも閲覧することができます。)

<http://www.city.takayama.lg.jp/gikai/1002453/1004843/index.html>



沼津 光夫 議員

木質バイオマスの積極的な推進を

市の特徴を活かした政策を推進すべきでは

【問】広大な山林を活かした木質バイオマス発電を計画すべきでは。

【答】健全な森づくりへの貢献、地域内経済循環、地球温暖化の防止など大変意義のある取り組みと考えている。しかし、木質バイオマスに限らず、固定価格買取制度を活用した大規模な発電所は、なかなか進められない状況である。

【問】売電については、民間の電力会社は買収しないとのことだが、市内で売電することとは考えられないか。

【答】買い取らないのではなく、送電線の一部に余力がなくなり、安全に電気を送るためには

送電線の張替えを行わないと発電所を設けても電気を流すことができない状況である。

【問】林業行政の視点からの考えは。

【答】発電の採算ラインは約7万2千〜8万4千㎡で、これは木材生産の8割を超える量となり、長期にわたり安定した量の確保に課題がある。

【問】自然エネルギー政策をどのように展開していくのか。

【答】木質バイオマス発電や小水力発電などの安定電源の発電を、民間事業者によって進めていただきたいと考えている。